

令和6年度 いのちの授業 事例集（高校）【朝会】

掲載数

9

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 神奈川県	高複合	朝会	拉致問題	クラスルームに拉致問題アニメ「めぐみ」を夏休み中に視聴するように案内した。拉致問題という視点から、いのちの尊さを感じ、友人や家族への思いやりの大切さやいのちの大切さについて学んだ。	政府が制作したアニメ動画を教材とした
2 神奈川県	高3	朝会	薬物乱用防止	麻薬・危険薬物に対する基礎的な知識を得るとともに、社会での現状を知り、若年層への薬物が及ぼす影響など、身近な例を取り上げて危険を避けることができるよう働きかけた。薬物乱用は青少年と関わりの深い健康問題の一つとなっており、自身の生命にも多大な影響を与えるものであると意識を高めることができていた。	藤沢北警察署 生活安全課スクールサポーター
3 神奈川県	高1	朝会	性教育 「性と健康に関する講演会」	「性」に関する正しい知識を持ち、自己の行動に責任をもって生きることの大切さや、よりよい人間関係のあり方を理解することを目的とし、講演会を実施した。オンライン形式で実施し、振り返りとして生徒向けアンケートを行った。	講師：医師 (芝レディースクリニック)
4 神奈川県	高1	朝会	薬物防止 「薬物乱用防止教室」	薬物乱用に対する心身・社会への深刻な影響について正しく理解し、薬物乱用を防止する意識づけを目的として、映像を通じて学習した。学習後のアンケートでは、薬物防止に対する認識が高まったことが確認された。	教材：薬物乱用防止啓発映像「大麻の誘惑」 警視庁で作成した啓発動画
5 神奈川県	高複合	朝会	国際的な相互理解に関する講義およびグループワーク	イエメンに在留経験のある外部講師から国際的な人権に関する講義を聞き、在日外国人や駐在員の問題点について学んだ。その後、「在日外国人や駐在員の問題点を踏まえて私たちは何ができるか」について考えた。その結果、文化など相手のバックグラウンドを知る大切さに気がつく生徒が多くいた。また、共生社会の実現に向け、自分はどうすればいいのかなど、自分事として考える生徒もいた。	国際支援に関する合同会社代表 1・3学年
6 神奈川県	高複合	朝会	拉致問題学習会	拉致問題に関する講演を聞き、問題解決に向けて市民として何ができるのかを考えた。アニメ「めぐみ」を視聴した後、講演を聞き、横田氏と黒岩県知事との意見交換を通して拉致問題への理解を深めた。その結果、拉致問題について理解し、横田氏と黒岩県知事との質疑応答する機会によって、シチズンシップの意識を高めることができた。また、アンケートの自由記述において「自分事」と記述する生徒が多く、横田氏の思いが十分に伝わり、拉致問題学習会の目的を果たすことができた。	拉致被害者家族連絡会代表・神奈川県知事 1・2学年

7	神奈川県	高複合	朝会	子ども食堂の取組	「子ども食堂」や「アニマルレスキュー」等の地域支援について聞き、地域の子どもや住民の人権について理解を深め、自らできる行動について考えた。その結果、講演前は子ども食堂を始めとする地域支援の取組について知らない生徒が多かったが、講演を聞き、そうした取組への理解を深めることができた。また、今回の講演の内容から地域貢献への具体的な参加方法を知り、複数の生徒がボランティア活動等への参加意欲をもつことができた。	子ども食堂経営者 全学年
8	神奈川県	高1	朝会	アイヌ文化理解から考える他者理解	アイヌの歴史や文化に関する講義を通して、講演者の差別や相互理解に対する考え方を知り、アイヌの問題にとどまらない他者理解について考えた。その結果、ほとんどの生徒が今回の講演を通して「初めて知ったことがあった」と答えた。アイヌ文化への理解を通して、他者を理解することの大切さやそのために必要なことを考えることができた。	アイヌ関連の合同会社 代表 1学年
9	神奈川県	高2	朝会	デートDV「自分を大切にするためには」	デートDVとは何かについて講演を通して理解を深め、「自分を大切にする」という視点で自身について考えた。その結果、講演内容やロールプレイを通して、「デートDV」について正しい理解につなげることができた。また、その知識を活かし、「デートDV」以外の問題についても考えることができた。	NPO法人代表 2学年